

小西化学工業 社内報

2019
AUTUMNキラリ!
KONISHI

VOL.22

発行/2019年10月1日
編集/キラリKONISHI推進委員会KONISHI
CHEMICAL IND CO.,LTD.【本社】〒641-0007 和歌山市小雜賀3丁目4番77号
【福井工場】〒913-0038 福井県坂井市三国町テクノポート2丁目8-2TEL.073-425-0331(代表) FAX.073-425-6116
TEL.0776-43-0331 FAX.0776-43-0332社長便り
Hironori Konishi代表取締役社長
小西 弘矩

早いもので2019年度も上期が終わりよいよ下期が始まりました。上期中には時代が「平成」から「令和」に変わるという大イベントを経験しました。当社にとつて平成の時代、特に後半は色々なことにチャレンジした激動の時代でした。2013年に念願であった福井工場M1プラントを建設し、2017年

にはDHDPs専用プラントであるM2プラントを増設し、昨年は和歌山に開発型マルチパイロットプラントである福井工場M3プラントの建設工事が始まります。令和の時代が始まつたばかりですが当社の挑戦もすでに始まっています。

President Message

FROM FUKUI
福井工場便り取締役生産本部長
兼福井工場長
岸木 博志

さて、上期を振り返りますと、業績はほぼ計画通り好調に推移しています。

しかしながらお客様の業績や要望、米中貿易摩擦、中国の環境問題、日韓関係の悪化など当社を取り巻く環境の変化は益々激しくなっています。今は好調であっても決して安心するところなく、緊張感を持つて新しいテーマ・新しい製品を事業化していくことが重要です。そのためにはイノベーティブな技術

「平成」から「令和」へ『小西化学の挑戦』

イノベーティブな技術に基づいた、絶対的な競争力の向上

に基づいた絶対的な競争力を向上させていく以外に生き残る道はありません。

開発型プラントへと移行していく道

は'13年のM1稼働時に比べて生産数量も10倍に迫り、製造以外でも物流や品質保証など機能や進捗に驚かれたと思いません。福井工場でも'20年末の生産開始を目指すM3プラントの準備として用地造成が8月に行われ、新たな躍進への期待と共に自ずと先へと目が向きます。この中で今迄以上に「一步先を見て、今やるべきことの優先順位を間違えない」を意識した工場運営を心掛けています。

は'13年のM1稼働時に比べて生産数量も10倍に迫り、製造以外でも物流や品質保証など機能や進捗に驚かれたと思いません。福井工場でも'20年末の生産開始を目指すM3プラントの準備として用地造成が8月に行われ、新たな躍進への期待と共に自ずと先へと目が向きます。この中で今迄以上に「一步先を見て、今やるべきことの優先順位を間違えない」を意識した工場運営を心掛けています。

「スマートファクトリー」と「R&D・Eの強化」により更大きく変化していくでしょう。なる成長を目指していきます。社員の皆さんも一人一人が新しくそして高い目標を持って組織とともに成長していくことを願っています。

新しい将来、大量生産型の製品は福井工場にシフトし、和歌山工場は再構築により高付加価値の製品を生産するためのマルチ

プラントが完成し3つのプラントによる操業が始まります。

まずは来年夏には福井工場M3プラントが完成し3つのプラントによる操業が始まります。

既存のM1(エボキシ樹脂)、M2(DHDPs)プラント共に上期はフルラブルへの迅速な対応と予防保全が共通の課題です。個別にはM1では今後の能力増強とスマート化。M2では設計能力達成を担保する各種施策の体系化です。

第3プラント稼働で



サルスベリと福井工場



M3用地整地